

松監事－第18号
令和2年8月21日

松本市岡田財産区
管理者 松本市長 臥雲 義尚 様

松本市監査委員 太 田 由 夫
同 竹 本 祐 子
同 中 島 昌 子

令和元年度 松本市岡田財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和元年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算とその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

令和元年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和元年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和2年6月2日から令和2年8月3日まで

第3 審査の方法

地方自治法第296条の5第1項の規定による財産区運営の基本原則に基づき、予算の執行状況、会計処理の適否、計数の正否、財産の管理状況等について検証し、審査を実施しました。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令の規定に準拠して作成されており、記載数値については、関係諸帳簿及び証書類と照合の結果、いずれも符合し、正確であると認められました。

なお、決算の概要及びこれらに対する意見については、次に述べるとおりです。

1 決算の概要

(1) 総括

予算現額 3,274 万円（前年度対比 933 万円、39.9%増）に対し、歳入の決算額は 3,433 万 1,732 円（前年度対比 948 万 5,951 円、38.2%増）、歳出の決算額は 2,731 万 4,747 円（前年度対比 759 万 5,478 円、38.5%増）で、形式収支は 701 万 6,985 円（前年度対比 189 万 473 円、36.9%増）となっています。

なお、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支も形式収支と同額の 701 万 6,985 円の黒字決算となっています。

決 算 収 支

(単位：円、%)

年 度 区 分	元 年 度 (a)	30 年 度 (b)	比 較 増 減 (c)=(a)-(b)	増 減 率 (c)/(b)
予 算 現 額	32,740,000	23,410,000	9,330,000	39.9
歳 入 決 算 額	34,331,732	24,845,781	9,485,951	38.2
歳 出 決 算 額	27,314,747	19,719,269	7,595,478	38.5
歳入歳出差引額(形式収支)	7,016,985	5,126,512	1,890,473	36.9
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	-
実 質 収 支	7,016,985	5,126,512	1,890,473	36.9

(2) 歳入

収入率は、予算対比 104.9%、調定対比 100.0%で、歳入の主なものは、県補助金 1,440 万 8,100 円、一般会計繰入金(市からの補助金) 703 万 5,600 円、土地貸付収入 515 万 9,737 円です。

決算額は、前年度と比較して 948 万 5,951 円(38.2%)の増加となっています。これは、県補助金、一般会計繰入金が増加したことなどによるものです。

歳 入 状 況

(単位：円、%)

区 分 款 別	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 率		収 入 済 額 構 成 比
				予 算 対 比	調 定 対 比	
県支出金	13,840,000	14,408,100	14,408,100	104.1	100.0	42.0
財産収入	5,500,000	5,514,064	5,514,064	100.3	100.0	16.1
繰入金	6,020,000	7,035,600	7,035,600	116.9	100.0	20.5
繰越金	5,120,000	5,126,512	5,126,512	100.1	100.0	14.9
諸収入	2,260,000	2,247,456	2,247,456	99.4	100.0	6.5
歳入合計	32,740,000	34,331,732	34,331,732	104.9	100.0	100.0
30 年 度	23,410,000	24,845,781	24,845,781	106.1	100.0	-
比 較 増 減	9,330,000	9,485,951	9,485,951	-	-	-
増 減 率	39.9	38.2	38.2	-	-	-

(3) 歳出

執行率は、83.4%で、歳出の主なものは、農林水産業費の委託料 2,069 万 4,100 円、財政調整積立基金積立金 257 万 2,827 円です。

決算額は、前年度と比較して 759 万 5,478 円（38.5%）の増加となっています。これは、農林水産業費の委託料が増加したことなどによるものです。

歳 出 状 況

(単位：円、%)

区 分 款 別	予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額 構成比
議会費	540,000	416,200	123,800	77.1	1.5
総務費	4,530,000	4,133,939	396,061	91.3	15.1
農林水産業費	24,810,000	22,764,608	2,045,392	91.8	83.3
予備費	2,860,000	0	2,860,000	—	—
歳出合計	32,740,000	27,314,747	5,425,253	83.4	100.0
30年度	23,410,000	19,719,269	3,690,731	84.2	—
比較増減	9,330,000	7,595,478	1,734,522	—	—
増減率	39.9	38.5	47.0	—	—

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

年度末現在高は、山林 10,146,061.53 m²、建物（非木造）30 m²、ともに年度中の増減はなく、立木の推定蓄積量は、443 m³減少し、106,299 m³となっています。

出資による権利は、松本広域森林組合への出資金 6 万 1,000 円で、年度中の増減はありません。

(2) 債権

きのこ採取権売払いによる債権（未調定債権）は、平成 30 年度の入札（4 年契約）で 140 万 6,000 円が債権となり、そのうち 35 万 1,500 円が令和元年度収入となったため、年度末現在高は、70 万 3,000 円となっています。

(3) 基金

財政調整積立基金の年度末現在高は、5,349万1,054円で、前年度より257万2,827円増加しています。

3 監査委員の意見

本財産区は、太陽光発電事業者への土地貸付により、財政運営は、比較的安定しています。本年は、例年以上に補助金を活用し、森林整備を積極的に行いました。

松くい虫対策の伐採で、一時的に立木の推定蓄積量は減少していますが、地域住民の安らぎでもある森林資源を持続可能な形で次世代へと引き継ぐためにも、今後も計画的な森林整備と保護に努めてください。

また、資金運用については、引き続き、ペイオフ対策を講じつつ、確実かつ効率的な運用を図ってください。